



外国出張報告書

平成 27 年 3 月 24 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 27 年 2 月
3. 出張目的 インドシナ半島地域における家畜飼料基盤の確立：C

4. 成果の概要

ラオス畜産研究センターでの放牧試験及び牧草（Br203 と Ruzigrass）の系統試験、ナムアン村での焼畑圃場及び耕耘機造成圃場における牧草（*Brachiaria decumbens* 及び *B. humidicola*）の生育試験が終了した。その結果、最適な放牧圧が明らかになった他、牛の採食は午後から夕方にかけて盛んになること Br203 は初期生育が遅いが最終的には収量が高いこと、*Brachiaria decumbens* が *B. humidicola* より生育が良いことが示された。ビール粕を用いた牛への給与試験を開始した。トウモロコシの牛への給与試験実施のための圃場を選定し、土壌調査を行った。陸稲の根の発達に及ぼす牛糞施用の効果を解明するための試験開始に協力した。ラオス国立大学におけるキャッサバのサイレージ化に関する実験計画を作成し分析方法の確認を行った。